

令和5年度 第6回崇化館地域会議 会議録

■日 時 令和5年9月19日（火）午後6時30分～午後8時

■場 所 崇化館交流館 4階 第2会議室

■出席者 <委員> 板倉 しをり 川澄 明美 芝田 美知子 高橋 通郎
谷口 和幸 戸田 博基 中川 隆英 永山 慎二
二宮 昇平 野々垣 順子 服部 啓二 羽根田 憲生
本多 鋭孝 三浦 健 渡邊 元
<欠 席> 武知 幸雄
<交流館> 近藤 かおる（崇化館交流館 館長）
<関係職員> 鈴木 学（副市長） 奥村 洋（市民安全室 室長）
野依 真人（企画課 課長） 今村 広和（都市計画課 主幹）
<事務局> 岡本 裕之（地域支援課 課長） 松下 誠（地域支援課 副課長）
山本 祐揮（地域支援課 担当長）

■次 第

開会 豊田市民の誓い唱和

- 1 開会
- 2 地域会議会長あいさつ
- 3 副市長あいさつ
- 4 諮問
(1) 諮問書授受
(2) 諮問内容説明
(3) 質疑応答及び意見交換
- 5 今後の流れについて
- 6 その他連絡事項
- 7 閉会

■議 事（要約）

4 諮問

- (2) 諮問内容に関する説明
企画課及び都市計画課職員から資料について説明
- (3) 質疑応答及び意見交換
別紙のとおり

5 今後の流れについて

答申までの流れについて事務局から説明

《今後の予定》

●令和5年度 第7回崇化館地域会議

日 時：令和5年10月17日（火）午後6時30分～
場 所：崇化館交流館 4階 第2会議室

委員	副市長は国土交通省からの出向とのことだが、豊田市に着任する前と後で当市の印象は変わったか。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10年前、名古屋市に赴任しており、業務関係で幾度か豊田に足を運んでいた。 ・ 当時は、自動車産業のまちというイメージと市町村合併後であったため、中山間地域のエリアが広いというイメージがあった。 ・ これまで、就職以降、14か所の地域に赴任してきた。この中で豊田市は自治区を中心とした地域の力がとても強いと感じている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の数が多く、比率も大きい。免許を返納しているものも多く、この中には家族に頼れず、移動に困る者もある。一方、公共交通が少なくなっている現状がある。 ・ こどもにも手だてが必要だが、このような高齢者への対応も必要ではないかと思っている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ ここ最近、社会的にこどもへ関心が向いていると感じている。自身もこども食堂を始めて5年目となる。 ・ 活動する中で、地域の大人とこどもの関わりは大切だと思っている。こどもと関わることで各人の家庭が見えるため、どのように関わっていけばよいかわかる。 ・ 第9次総合計画の中で地域共生の視点、人と人とのつながりが入っていることが良い。 ・ 令和5年10月には地域共生社会推進サミットが豊田市で開催される。 ・ 隣人など自分たちの周囲で困りごとを抱えている者に対し、地域で気づいてあげることが大事だと思う。 ・ 第9次豊田市総合計画のこの方向性を私としては喜んでいる。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域における支え合いを考える時、支える側の人口も減っていることを考慮しなければならない。 ・ この際、支える側を支援するためにデジタルや新しい技術でその負担を減らしていくことが肝心だと考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 8次総合計画概要版の11ページに記載のある人口のことについて伺いたい。 ・ 人口についてどのような状況が理想的か知りたい。
企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体で人口が減少しているため、どうにか維持しようという発想がある。 ・ 支え合いを考える時、人口構成のグラフの形は長方形であることが理想である。 ・ 現在、豊田市は出生率が1.4程度である。毎年3,000人程度の出生があれば、持続可能な形が実現できるかと思う。

副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・自然増は簡単には実現できない。 ・外から入ってくる人を増やすということもある。 ・豊田市を選んで住んでもらえることも一策と考えている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の問題は、子育て世代に来てもらうことが良いと考える。 ・長久手市などは子育てに手厚い印象だが、当市と比較してどうか。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の多くは豊田市が先行している印象がある。これを加味すると、PRが苦手な一面があるのかもしれない。 ・また、人口が少ないところから増える状況と、既に人口がある市がどのように人を増加若しくは維持するかは、豊田市が魅力あるまちとして選ばれるかが重要と思っている。
企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市は、就職に伴い豊田市に移住する若者が多いため、その人たちが婚礼期に「豊田市に住みたい」と思わせるよう施策に反映出来ればという思いはある。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・次期総合計画の内容は良いと思っている。 ・子育て等に魅力的なまちを考える時、市内にお金を落とすことが重要なのではないかと感じている。周辺市は郊外に大型商業施設を誘致するなどして、市内外から誘客し、ひいては市の魅力を発信している。 ・豊田市は周辺の市と違い、駅周辺による整備を積極的に行うとのことであるがこの辺りの考え方はどうか。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・次期総合計画では、駅の近くに居住誘導エリアを想定し、市内の鉄道網の利点を最大限に生かす方針で考えている。 ・周辺市の状況踏まえ、今後のまちづくり何が足りないのか、商業施設が必要なのかどうなのか検証はいるかもしれない。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・PRが下手ということは感じる。いろいろと施策を講じており、良策を講じてくれていると思うが、市民に浸透していない部分を感じる。 ・担い手となりうる者一人ひとりが施策について十分に理解することが大事と思う。 ・高齢者に対しては福祉だけの施策を打つだけではなく、元気に活躍できる高齢者をサポートし、地域活動に向かわせることも必要と思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・一区自治区の区民会館周辺にはこども園があり、こどもたちを呼んで色々と催事を行っていた。 ・新型コロナウイルスの影響で催事がなくなり、世代を超えた交流がなくなってきたが、今後、社会活動ができる状況になりつつあるため、再開することが大切だと思う。
副市長	<ul style="list-style-type: none"> ・PRが下手という点については、たとえば、豊田市公式LINEなどはそうかと思う。LINEで各種の施策が調べやすいようになっており先進的であるが、あまり知られていないので浸透が肝心だと思う。

委員	<ul style="list-style-type: none">・先ほど、こどもの出生率の話があった。・独身男性が周囲に多い、婚姻率を上げることも重要と感じている。
企画課	<ul style="list-style-type: none">・過去、いろいろな実施主体で婚活パーティがおこなわれていた。・豊田市の特徴として、未婚の男性が多いという事も承知している。・結婚は個人の人生の選択に係る問題であるということを加味しながら、取り組めることがあるか検討がいる。